

Ⅱ．沖縄県地域結集型共同研究事業の総括

1．事業経過と成果

(1) 事業経過

沖縄県では、沖縄振興計画（平成14年5月）に基づき、健康食品、バイオテクノロジー関連産業を重要な産業と位置付け、沖縄地域の科学技術振興および産業振興に取り組んでいる。

当事業は、「亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発」をテーマに沖縄初の産学官連携による大型プロジェクトとして平成14年度に開始し、亜熱帯生物資源の高度利用に関する基盤技術を確立し、沖縄県の健康・バイオ関連産業の振興を図ることを目的とした。

また、沖縄のライフサイエンス分野における科学技術の振興を図るため、(株)トロピカルテックノセンターを中核機関に、琉球大学、産業技術総合研究所などバイオテクノロジー分野で研究ポテンシャルの高い大学、研究機関や工業技術センター等の公設試験研究機関、県内外企業との連携のもとで共同研究開発を実施した。

(2) 主な成果

当事業では、亜熱帯生物資源の高度利用に関する先進的な研究開発により、26件の特許出願を行い、うち5件を県内企業に技術移転した。技術移転後の事業化に際しては、国・県等の研究開発支援事業等の活用を図っており、商品化したものが3件、事業化に向け研究開発中のものが3件となっている。

また、当事業の雇用研究員として研究統括のもと技術ノウハウを取得した研究者が、県内のバイオベンチャー企業及び大学等で活躍する等、県内の研究人材育成の面においても大きく貢献した。

さらに、コア研究室である「沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター」を中心として琉球大学、県外研究機関、県内公設試験研究機関及び健康食品企業との産学官連携ネットワークが構築された。

①商品化3件

- ・沖縄のツバキ茶：(株)仲善（H19年販売開始）
- ・貝毒検出キット：(株)トロピカルテックノセンター（H19年販売開始）
- ・PP2A酵素：(株)トロピカルテックノセンター（H19年販売開始）

②試作品3件

- ・フコキサンチン入りサプリメント：(株)金秀バイオ（H20年販売予定）
- ・飲みやすいノニジュース：(株)仲善（H20年販売予定）
- ・ムラサキイモエキスの利用した視覚改善食品：(株)琉球バイオリソース開発
（発売日未定）

③フェーズⅢ

- ・ムラサキイモ関連：(株)琉球バイオリソース開発（県事業にて研究実施中）
- ・PP2A関連：(株)トロピカルテックノセンター（県事業にて研究実施中）
- ・ヤブツバキ関連：(株)仲善（県事業にて研究実施中）

2. 今後の展開

沖縄県における「亜熱帯生物資源の高度利用」に関する研究については、引き続き、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターを拠点とし、大学・産学官連携による研究開発を促進することで高度な技術シーズを生み出していく仕組みを構築する。当事業により輩出された技術シーズの事業化については、引き続き県の提案公募型研究開発支援事業等で企業の商品化等を支援する。これらの機関連携に関するコーディネーターや、公募事業等への提案の支援については、県および中核機関であるトロピカルテクノセンターが担い、地域COE体制を維持・発展させる。

また、当事業の成果のうち、新たな技術シーズの蓄積が図られつつあるマリンバイオ関連研究については、文部科学省の「都市エリア産学官連携促進事業」に応募し、更なる発展的研究を目指す。

さらに、平成24年度までに開学予定の沖縄科学技術大学院大学との連携を図り、本県における健康バイオクラスターの発展を図っていきたい。

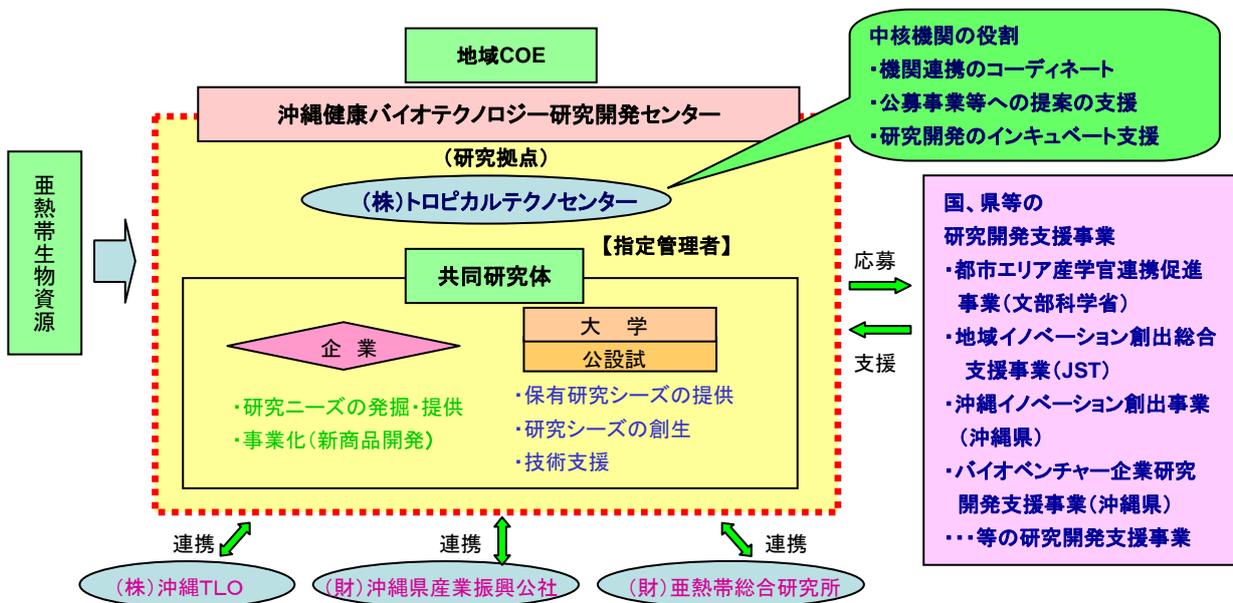


図1 地域COEの体制